

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス『Air シフト』 単発バイトを募集・採用できる「ヘルプ機能」を追加 スタッフ側のシフト管理・給与計算アプリ『シフトボード』で応募可能

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、本日より、やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス『Air シフト』に、単発バイトを募集・採用できる「ヘルプ機能」を追加いたします。お店は『Air シフト』でシフトの埋まり状況を確認し、空き日時に単発で働けるスタッフを募集できます。働き手は、働きたいと思ったピンポイントな日時に仕事を見つけることができます。単発バイトの応募は、スタッフ側のシフト管理・給与計算アプリ『シフトボード』から可能です。

1. 『Air シフト』『シフトボード』の概要

『Air シフト』はシフト表の作成はもちろん、スタッフとのやりとりもラクになるシフト管理サービスです。2018年のサービス開始以来、希望シフトを集める・組む・調整する・スタッフとやりとりするなどの機能を提供し、お店のシフト管理をカンタンにしてきました。その中で、シフトの埋まり状況を可視化し、お店の空く・空きやすいシフト日時の特定も可能にしました。

『シフトボード』は、バイトやパートが自身のシフトを管理できるスマートフォン向けアプリです。スケジュールや給与を可視化して把握もできます。

2. 新機能「ヘルプ機能」の概要

一つのシフト画面上で、シフト管理と募集・採用を一気通貫で完結

このたび『Air シフト』に、「ヘルプ機能」という名称で、単発バイトを募集できる機能が備わります。これまで『Air シフト』では、シフトを組むための様々なサポート機能を提供してきました。その中で、シフトの埋まり状況を可視化し、空く・空きやすい日時の特定も可能にしました。今後は、その空きシフトを「埋める」支援までを担います。

『Air シフト』のヘルプ機能を利用してお店が出す単発バイトの募集情報は、スタッフ側のシフト管理・給料計算アプリ『シフトボード』に掲載されます。『シフトボード』は、累計ダウンロード数が800万*を超えており、募集情報が求職者に広くリーチするのも特徴です。今回、『シフトボード』の機能も拡充され、応募から採用後のお店との連絡まで『シフトボード』上でできるようになります。

*2022年2月時点

【『Air シフト』のヘルプ機能概要】

お店はシフト管理で使っていたシフト表上で、直感的に操作してシフト単位*で単発バイトを募集できます。募集情報は「カンタン入力ボタン」という機能を使ってすぐに作成できます。例えば飲食業なら、「注文受付」「洗い場」「店頭販売」など、任せたい仕事内容をボタンで選択。同様に、当日の持ち物や服装についてもボタンを押していくだけで、募集情報が完成します。2回目以降の募集では、前に使った募集情報をコピーできるため、さらに手間を省けます。

応募者のプロフィール確認や採用判断もシフト表上で行います。採用すると確定シフトが自動でシフト表に反映され、既存スタッフと単発バイトのシフトを一覧で管理できます。また採用後は、既存スタッフと同じようにチャットでやりとり可能です。

「ヘルプ機能」の利用に追加料金はかかりません。『Air シフト』の有料契約*をしており、ヘルプ機能の利用に関する審査基準を満たしたお店は利用できます。

*24 時間以内の 1 回の勤務

*『Air シフト』は、導入開始月と翌月は無料、その後の継続は有料

【『シフトボード』の単発バイト機能の拡張概要】

スタッフ側でもスケジュールや給料計算に単発バイトも含めて管理できるようになります。応募希望者は、働きたい日とエリアから、条件に合う単発バイトを選び、履歴書情報を登録して応募します。応募や採用された単発バイトの日程はスケジュール画面に反映。採用が決まると、給料計算にも想定給与が加算されます。採用後の疑問点などは、チャットで店舗とやりとりできるようになります。



3. 提供開始の背景

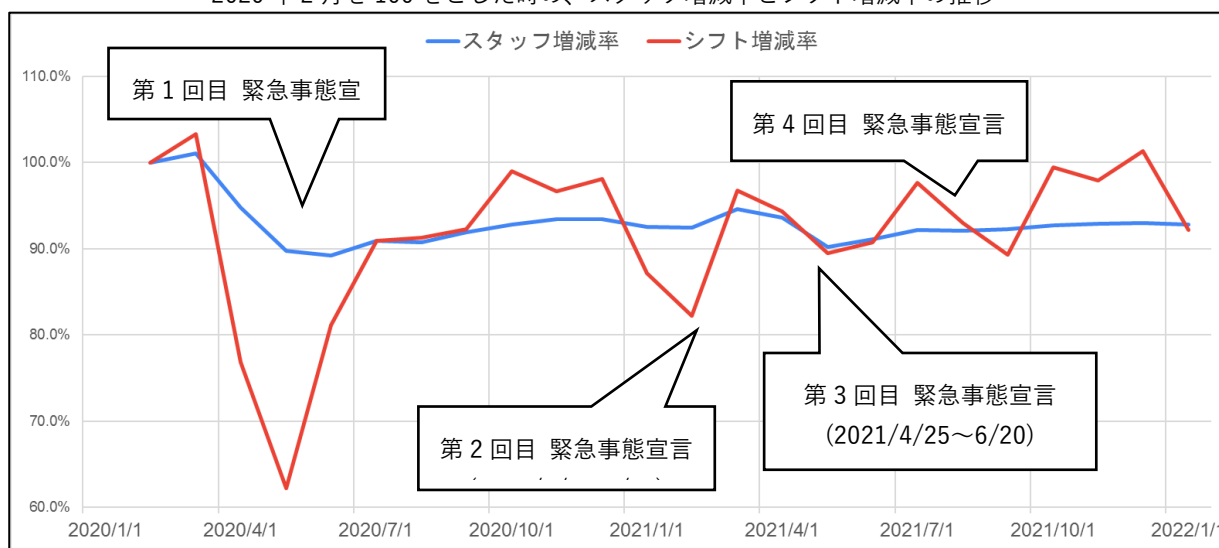
単発バイトは、労働力不足の解消と、多様な働き方を実現する方法の一つに

お店のお声を聞いていると、スタッフから希望日時を募るだけでは、シフトが埋まらない場合が多いようです。スタッフが働きたい希望日時がきれいに分散するとは限らないためです。そのため、飲食・サービスなど時期による繁閑差の激しい業界では、できる限りスタッフを増やし、シフトを調整していました。それでも空きシフトがある場合は、社員がカバーするか、スタッフにどうにか予定を再調整してもらっていました。しかし、本来的に求められるのは、より多様で柔軟な雇い方・働き方であり、単発バイト・パートは選択肢の一つになりえます。

加えて、今後はスタッフを確保すること自体が難しくなると予想されます。なぜなら、日本の労働市場を取り巻く環境は、厳しさを増しているためです。日本では少子高齢化やそれに伴う人口減少で、人手不足が深刻化しています。さらに追い打ちをかけるように、飲食業を中心に、新型コロナウイルス禍で突発的な働き手不足に陥っています。

また、新型コロナウイルス禍で一時的に人員を減らしたお店が、本当は採用したいけれど、採用できない現状もデータから浮かび上がります。『Air シフト』のデータで、2020 年 2 月を 100 をとした時のスタッフ増減率とシフト増減率を見比べてみます。スタッフ数は、第 1 回目の緊急事態宣言が発出された 2020 年 4 月以降、減少した状態が続いているとわかります。一方でシフト数は、第 1 回目の緊急事態宣言が発出されて大幅に減った後、解除と再発出のタイミングで増減を繰り返しています。ここから、お店は限られた数の既存スタッフに頼ったシフト調整で、繁閑に対応している様子が伺えます。この状況を打破する解決策としても、単発バイトへの業務発注は進むと考えられます。

2020年2月を100をとした時の、スタッフ増減率とシフト増減率の推移



出典：『Air シフト』有料顧客（2019年12月末までに登録し、現在も有料契約をしている顧客）の『Air シフト』登録データより N=2,164

4. 責任者コメント



沓水 佑樹（くつみず ゆうき） ※ご取材可能

株式会社リクルート プロダクト統括本部 所属

『Air シフト』および『シフトボード』プロダクト責任者

■300人を超える店長へ直接ヒアリングを実施し、睡眠時間を削って働く姿を間近で見て、その働き方に課題感を持つ。リサーチを進めた結果、シフト管理に時間と労力を大幅に費やしていることが判明し『Air シフト』開発を決断。

■成蹊大学との「スタッフスケジューリング」に関する共同研究により、オペレーションズリサーチ学会におけるシフト関連の論文にも複数参加している。

今後のアルバイト・パートは、固定と単発の掛け持ちが増えると予想

私の見解では、アルバイト・パートで働く方の多くは、「働きたい時に働きたいだけ働きたい」と考えていらっしゃると思います。おそらく、新型コロナウイルスの影響がなくなったとしても、固定のバイト・パートだけでなく、単発のお仕事と組み合わせたフレキシブルな働き方が増えていくと予想しています。

単純に考えると、お店にとってはシフト管理の難度が増します。また、給与計算も複雑になります。その時に、労務全般の管理を効率化できる『Air シフト』は、お店の生産性向上と、その先にある「商うを、自由に。」の実現に、より寄与できる余地があると考えています。

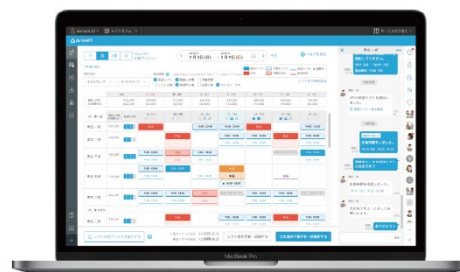
5. 『Air シフト』主な機能

- ① シフトの収集：勤務希望および休み希望の収集、希望シフト提出を自動でリマインド、希望シフトのシフト表への自動反映
- ② シフトの作成：日/週/半月/月でシフト表の表示切替、時間帯別の必要人数の表示、シフトの追加/削除/編集/確定、シフトの下書き保存、シフト表への忙しさの印入力、シフト表へのメモ入力、シフトの自動作成、AIによる自動作成精度の向上

- ③ シフトの調整：スタッフへのシフト調整依頼、未対応の申請の自動アラート
- ④ シフトの共有：スタッフへのシフト表共有、シフト表の PDF ダウンロード・印刷
- ⑤ チャット連絡：スタッフとのメッセージ機能、スタッフからの申請への回答
- ⑥ スタッフ管理：スタッフごとのシフト時間集計、スタッフのグループ別管理、
スタッフの CSV データダウンロード

■ヘルプ機能

- ① 募集： 募集原稿の作成、募集掲載の開始と終了
- ② 応募者確認： 応募者の履歴書情報の確認
- ③ 採用： 採用・不採用の決定、応募者への採用・不採用の通知
- ⑤ やりとり： 採用者とのチャット



6. 『シフトボード』主な機能

- ① シフトの管理：シフトの入力・表示、スマートフォンのカレンダーとの同期
- ② 簡易給料計算：給料見込計算、影響ある税金・保険料のチェック、月々の収入ペース管理

■『Air シフト』と連携することで使える機能

- ③ シフトの提出：希望シフトの提出・確定シフトの確認
- ④ シフトの調整：シフトの欠勤/変更/交代申請、出勤依頼への回答、店舗・他スタッフとのメッセージ

■単発バイト機能概要

- ① 単発バイトの確認： 単発バイトの募集案件の確認
- ② 履歴書情報の登録： 履歴書情報の登録、更新
- ③ 応募： 応募、応募から採用までの状況確認
- ④ やりとり：採用された後のお店とのチャット



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>